

PR

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン まち・ひとつながる

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン

まち・ひとつながる

熊本市まちづくりセンター通信 vol.11

熊本市各地域の「まちづくりセンター」の活動報告・イベント情報をお知らせします。



南部まちづくりセンター(南区)

「力合校区防災健康ウォークラリー」開催 健康増進を図り、住民の親睦を深め 防災意識も向上で、「一石二鳥」!

近年、県道51号熊本港線周辺の宅地化が進み、さらにJR西熊本駅の開業で交通の利便性が向上したことによって、人口が増加している南区力合校区。一方で、昨年の熊本地震では校区内の一部地域で液状化による被害なども発生し、地域の防災に対する意識が高まっています。そうした中、校区自治協議会で初めて企画されたのが、「力合校区防災健康ウォークラリー」です。

学校をスタートし、地域に残る史跡を見学。白川河川敷では、休憩を兼ねて白川の改修工事や過去の氾濫(はんらん)被害の説明を受けました。また、消火器の操作や放水を体験する消防訓練も行われ、約4kmのコースを2時間かけて「完歩」。到着後は、参加者全員でアルファ米とだご汁の炊き出しを食べて、予定を終えました。

関わった南部まちセンの甲斐伶志さんは、「力合校区は新興住宅地をはじめ、大型マンション建設の予定もあり、子育て世代が多い地域。そうした方々にも今回のようなイベントを通じて、「まちづくり」に関心を持ってもらい、さらに地域が活気づけば」と、今後の継続に期待を寄せています。



校区内を流れる椎田用水路沿いを歩く参加者たち。親子連れの若い世代も多数参加

12月3日、同校区の力合小学校をスタート・ゴールに開催された「力合校区防災健康ウォークラリー」。校区の住民だけでなく、校区内に職場がある人も参加でき、当日は約150人が集まりました。ウォークラリーは、健康増進はもちろん、防災訓練などを行って、防災意識を高め、さらに災害などの際に、声掛けや助け合いがしやすいように親睦を深めるといった「一石二鳥」を狙ったイベントです。

参加者は、午前9時半に力合小



参加した子どもたちは、「ちびっこ消防士」に変身して放水体験!

参加者も、「いざというときには地域のつながりが大事。こうしたイベントで顔見知りが増えれば」「白川の治水の歴史などを知り、防災について考えるいい機会になった」など、災害への備えと地域の助け合いの大切さを感じていました。準備段階から自治協議会での打ち合わせや、関係各所との調整に

今回、力合校区では、子どもたちも楽しめるように、休憩の際にお菓子を配ったり、放水体験などを企画しました。こうしたイベントを継続して行い、地域内の親睦がますます深まっていけばと思います。

南部まちづくりセンター(写真左から) 堀田優里さん、甲斐伶志さん 所長 菊地 徹さん、岡内ゆりかさん

発展を続ける地域に「つながり」を生む取り組みとして、まちセンも応援!



私も参加しています!



力合校区自治協議会 会長 安井正春さん

災害時にものを言う 助け合いを育むには 互いの顔を知ること

力合校区は近くを白川が流れ、地域のほとんどが低地のため地震だけでなく水害に対する備えも必要です。今回企画した「防災健康ウォークラリー」は、以前ラジオで知り、「力合校区でも、ぜひやってみたい」と考えていました。具体的なプランを立てる段階では南部まちセンにも協力を仰ぎ、ウォークラリーに関わる各所との

調整などでもサポートしてもらいました。昨年の熊本地震を経験し、「災害時に何よりも大切なのは隣近所の助け合い」と痛感しました。そのためには、こうしたイベントを通じて、子どもから高齢者までが自分の住む地域のことを知り、そこに住む方々と、顔見知り、になつておくことが大事だと思います。



自治協議会代表者との打ち合わせの様子

わがまち Topics

市内各校区で行われたさまざまなイベントの様子や、これから行われる催しの情報を、まちセンとの関わりなども交えて紹介します。

行事レポート

11/30 城南地域の「若手」が未来を語り合う

【城南地域ブランド力向上委員会】

城南地域で日頃からまちづくり活動や各分野で活躍している20~40代の約20人が集まり、「城南」をいかに内外にアピールするかを語り合うために設立された「TEAM城南ワンダホー」の初会合。年度内にアンケート調査や行動計画作成を行い、次年度から本格的にプロジェクトを開始させます。南区地域復興まちづくり支援事業として行われる同会。果たして、どんなアイデアが出されるか楽しみです。

城南まちづくりセンター ☎0964(28)2260



12/3 活力あるまちづくりの基本は「健康」

【向山校区歴史探訪ウォーキング】

向山校区自治協議会が、「安全安心のまちづくりは一人ひとりの健康から」を合言葉に、年数回実施している健康ウォーキング。その一環として、校区の歴史を知り、魅力を再発見する「歴史探訪ウォーキング」が開催されました。参加者は、史跡を巡りながら地域の歴史について学んだ後、ゴールの向山小学校では健康チェックを受け、おいしい、アユだじご汁で体を温めました。

向山校区まちづくりセンター ☎096(328)2232



託麻地域って、こんなところ

古代の人々も暮らした山で八十八ヶ所札所巡りができる!?

託麻地域には、戸島山、小山山、神園山という3つの低山があり、総称して「託麻三山」と呼ばれています。それぞれの山麓からは、旧石器時代の人々の営みの跡もみつかると、歴史的にも貴重な山です。また、三山とその周辺には、「託麻新四国八十八ヶ所」という札所が設けられていて、毎年4月にはこれらを巡るイベントも開催されています。健康づくりも兼ねて、皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



毎回100人程度が参加する「たくま八十八ヶ所巡り」

「巡拝の手引き」では、由来や札所の場所も詳しく解説

託麻まちづくりセンターです!

熊本市内17カ所のまちづくりセンターを、それぞれのまちセンスタッフ(地域担当職員)が紹介します!

仕事を楽しむチームワークの良さと「気軽に立ち寄れる」まちセンに!

地域担当 松村 悠さん



託麻まちセンが管轄する6つの校区内には、東区の人口の40%を超える約8万人が暮らしており、そのエリアを地域担当職員3人で回っています。北里隆佳所長のモットーである「職場が楽しくなければ、仕事も楽しくない」を実践すべく、自称「まちセン1(いち)」のチームワークの良さで地域の皆さんの信頼を得るために頑張っています! また、まちセンは「市行政の最前線」でもあるので、住民に気軽に立ち寄っていただける集いの場になることで、市役所を身近に感じてもらえるようにしたいですね。



地域のシンボル「託麻三山」をバックにポーズ!

公民館班と共用の事務所は「人口密度」高っ!

お問い合わせ

●熊本市地域政策課 ☎096(328)2031(月~金曜・8:30~17:15)、chikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp
●南部まちづくりセンター ☎096(358)1877 ●託麻まちづくりセンター ☎096(380)8119